

# 演劇鑑賞会を終えて

岡田校区愛護部連絡協議会

和田 真美枝



▲江戸時代にタイムスリップ

それは、美しい笛の音で始まり、私たちは、江戸時代へとタイムスリップ。  
藍色の舞台からは、かわい  
い一つ目小僧やろくろ首が飛  
び出し、子どもたちの好奇心  
あふれる瞳は、キラキラと輝  
く。

時は現代となり、主人公の  
まもる君に妖怪たちは次々と  
からむ。妖怪たちのコミカル  
な動きに、思わず大人も子ど  
もも笑ってしまう。約400  
名の笑いが、岡田小学校体育  
館いっぱい広がった。  
子どもたちと共に笑い、感  
動する心地良さ、久しぶりの

快感。  
「やって良かった！」  
役員一同の気持ちが一につ  
なり、緊張は笑顔に変わった。

岡田校区愛護部連絡協議会  
では、10月19日（土）、岡田小  
学校体育館で劇団「風の子」  
の皆さんによる、妖怪ファン  
タジー「まもるのとなり」の  
鑑賞会を催しました。

雨の降る中、約400名の  
ご参加をいただき、役員一同  
心からお礼を申し上げます。  
先輩の役員の方々の子ども  
たちと一緒に、すばらしい演  
劇を鑑賞し、共に感動した  
という熱意が、この6回目の  
演劇鑑賞会につながっていま



▲目を見張る大きさ！



▲大観衆！

また、第1回目から、劇団  
と事業部のパイプ役となり、  
お世話をしていただいている  
栗田さん、そして岡田小学校  
や岡田中学校の先生方のご理  
解とご協力に深く感謝をして  
おります。

一つの行事をなし遂げるこ  
とは、多くの方々のご協力を  
しには考えられません。  
ポスターを貼らせていただ  
いた校区内の病院、保育所、  
公民館、スーパーの皆様、ご  
協力ありがとうございました。

そして、さわやかな笑顔で  
ボランティアのお手伝いをし  
てくださった中学生の皆さん、  
ありがとうございました。

最後になりましたが、仕事  
を持つ母親にとって、職場の  
上司や仲間の皆さんの温かい  
励ましがどんなに嬉しかった  
ことか、この場をお借りして、  
心からお礼申し上げます。

# 共に生きる

北伊予小学校教諭

井門 眞理子

「おはようございます。」  
と、朝、笑顔の子どもたちと  
握手をすると、手から手にぬ  
くもりが伝わってきて、元氣  
がでます。授業をした後、

「少しずつ算数の勉強が分  
かってきたよ。」  
「ありがとうございます。」

などと、にこにこ顔で握手を  
しにくる子どももいます。言  
われなくても自分が思ったこ  
とを優しい言葉で表現したり、  
すぐに行動に移したりする子  
どもたちを見ていて、昨年の  
夏のことをふと思い出しまし  
た。

夏休みに検査入院をしたと  
き、同室の骨折をしている方  
から聞いた話です。

リハビリ室まで看護師さん  
に連れて行ってもらい、早く  
終わったので自分で帰ろうと  
したのですが、病棟と病棟の  
間がスロープになっているの  
で、車椅子では、一人で渡る  
ことができないのです。通り  
かかる方がいるのですが、  
「車椅子を押してください。」

と、言うこともできず、どう  
しようかと30分近く待ってい  
ました。すると、同じ病棟の  
看護師さんが通りかかり、  
「どうしました。」

と、声を掛けられ、スロープ  
が渡れないことを話し、やっ  
と病室に帰れたそうです。

わたしたちが、見て見ぬふ  
りをしないで、優しい言葉を  
掛けたり、手助けをしたりす  
ると、こんないやな思いをす  
る方がいなくなるのではない  
かと思えます。また、困った  
ときには、気軽に頼んだり、  
誰とでも話したりできる社会  
をわたしたち大人からつくり  
たいものです。

これからも、次代を担う子  
どもたちが、差別を憎み、共  
に生きる思いやりの心が育つ  
よう、まず、周りに目を向け、  
人とのかわりやさまざま  
人権学習とおして、共に生  
きる強さと優しさを学んだり、  
思いやりの心で行動したりし  
たいものです。